

# 石川県の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況(普通会計決算)

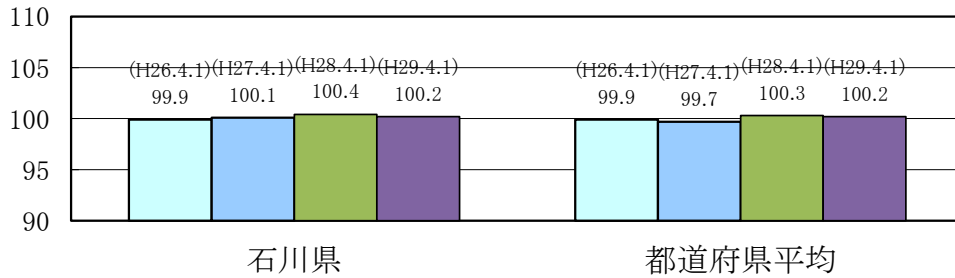
区分	住民基本台帳人口 (平成29年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成27年度の人件費率
平成28年度	人 1,141,345	千円 559,372,793	千円 756,878	千円 134,415,090	% 24.0	% 25.9

### (2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				(参考) 一人当たり 給与費 B/A	(参考) 都道府県平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉 手当	計 B		
平成28年度	人 14,560	千円 61,395,978	千円 10,337,122	千円 23,696,888	千円 95,429,988	千円 6,554	千円 7,171

- (注) 1 職員手当には退職手当を含んでいません。  
 2 職員数は、平成28年4月1日現在の人数です。  
 3 給与費については、再任用短時間勤務職員の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。

### (4) 給与改定の状況

#### ①月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)		
平成29年度	円 357,876	円 357,081	円 795 ( 0.22 %)	% 0.22	% 0.22	% 0.15

- (注)「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額です。

#### ②特別給(期末・勤勉手当)

区分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A-B	勧告 (改定月数)		
平成29年度	月 4.40	月 4.30	月 0.10	月 0.10	月 4.40	月 4.40

- (注)「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数です。

### (5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[  実施 ] 未実施 ]

実施内容(平均引下げ率、実施(実施予定)時期、経過措置の有無等具体的な内容(未実施の場合には、その理由))

行政職については給料表の水準を平均2%引き下げるとともに、40歳代や50歳台前半層の昇給機会の確保の観点から5級及び6級について8号給の増設  
 行政職給料表以外の給料表(医療職給料表(-)を除く。)についても、所要の改定  
 再任用職員の給料月額については、再任用職員以外の職員の給料月額の改定に準じた改定  
 ・平成27年4月1日実施  
 ・経過措置(現給保障) 平成27年4月1日～平成30年3月31日

②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合)国基準3%に対し、本県においても3%を支給  
 (参考)

	平成26年度の 支給割合	平成27年度の支給割合		平成28年度の 支給割合	平成29年度の 支給割合
		4月1日時点	遡及改定後		
国基準による 支給割合	3%	3%	3%	3%	3%
石川県の支給割合 (金沢市・内灘町)	3%	3%	3%	3%	3%

③その他の見直し内容

給料等の1.5%の減額支給措置の廃止(平成30年3月31日)  
 管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施(平成27年4月1日実施)

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成29年4月1日現在)

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額(国比較ベース)
石川県	41.8 歳	319,160 円	399,355 円	351,894 円
国	43.6 歳	330,531 円	— 円	410,719 円
都道府県平均	43.1 歳	328,772 円	414,485 円	371,274 円

② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国比較ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	
石川県	53.4 歳	186 人	315,788 円	355,877 円	331,355 円	—	—	—	—
うち用務員	55.7 歳	7 人	319,171 円	338,247 円	326,997 円	用務員	55.1 歳	207,300 円	1.63
うち自動車運転手	52.2 歳	73 人	314,771 円	361,117 円	332,781 円	自家用乗用自動車運転手	56.4 歳	217,200 円	1.66
うち守衛	54.3 歳	2 人	324,450 円	394,281 円	356,071 円	守衛	57.9 歳	232,100 円	1.70
うち電話交換手	61.1 歳	3 人	253,733 円	280,856 円	257,823 円	—	—	—	—
うち学校給食員	52.7 歳	7 人	327,586 円	345,648 円	336,790 円	調理士	43.2 歳	253,400 円	1.36
国	50.6 歳	2,722 人	286,833 円	—	328,360 円	—	—	—	—
都道府県平均	52.5 歳	231 人	326,437 円	382,344 円	359,762 円	—	—	—	—

区分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
石川県	5,765,824 円	—	—
うち用務員	5,440,964 円	2,818,600 円	1.93
うち自動車運転手	5,859,504 円	2,887,900 円	2.03
うち守衛	6,353,372 円	3,287,700 円	1.93
うち電話交換手	4,227,072 円	—	—
うち学校給食員	5,701,176 円	3,422,300 円	1.67

(注)1 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成26年～28年の3ヶ年平均)

2 技能労務職の職種と民間職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

○公務員・・・「平成29年地方公務員給与実態調査」のデータを使用(正規職員のみ)

○民間・・・企業規模10人以上、常用労働者のうち一般労働者のデータを使用

※「常用労働者」とは、次の各号のいずれかに該当する労働者をいいます。

①期間を定めずに雇われている労働者、②1か月を超える期間を定めて雇われている労働者、③日々又は1か月以内の期間を定めて雇われている労働者のうち、4月及び5月にそれぞれ18日以上雇用された労働者

※「一般労働者」とは短時間労働者(1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者)以外の労働者をいいます。

3 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤奨手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

③ 高等(特別支援・専修・各種)学校教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
石川県	45.6 歳	380,757 円	426,784 円
都道府県平均	44.8 歳	377,225 円	440,594 円

④ 小・中学校(幼稚園)教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
石川県	43.3 歳	360,817 円	397,513 円
都道府県平均	43.3 歳	363,803 円	420,442 円

⑤ 警察職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額(国比較ベース)
石川県	38.0 歳	306,939 円	412,111 円	334,637 円
国	41.2 歳	315,864 円	—	371,729 円
都道府県平均	38.4 歳	320,446 円	456,343 円	368,063 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

(2) 職員の初任給の状況(平成29年4月1日現在)

区分		石川県	国
一般行政職	大学卒	178,200 円	178,200 円
	高校卒	146,100 円	146,100 円
技能労務職	高校卒	143,500 円	—
	中学卒	127,900 円	—
高等学校教育職	大学卒	199,500 円	—
	高校卒	155,200 円	—
小・中学校教育職	大学卒	199,500 円	—
	高校卒	155,200 円	—
警察職	大学卒	204,100 円	204,100 円
	高校卒	168,400 円	168,400 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況(平成29年4月1日現在)

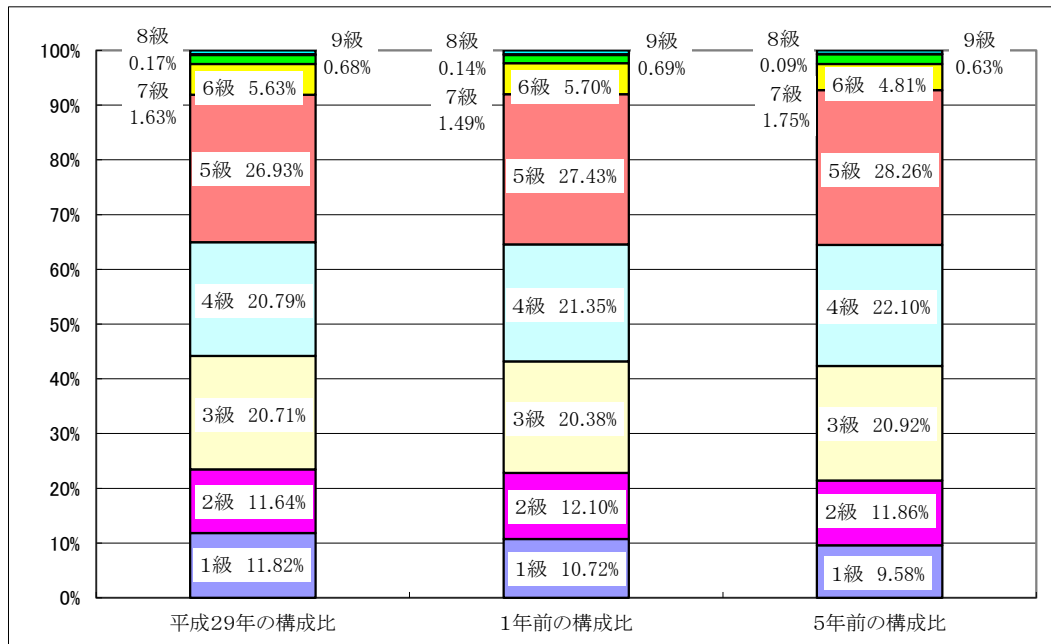
区分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	265,000 円	365,079 円	385,583 円	399,356 円
	高校卒	222,289 円	315,633 円	359,454 円	375,315 円
技能労務職	高校卒	－ (該当者なし) 円	279,050 円	312,283 円	332,400 円
	中学卒	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円
高等学校 教育職	大学卒	316,846 円	397,170 円	424,639 円	437,178 円
	高校卒	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円	421,304 円
小・中学校 教育職	大学卒	313,847 円	391,466 円	413,484 円	423,289 円
	高校卒	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円	－ (該当者なし) 円
警察職	大学卒	274,190 円	391,188 円	407,532 円	411,220 円
	高校卒	251,287 円	345,275 円	397,417 円	398,675 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(平成29年4月1日現在)

区分	基準となる職務	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
9 級	本庁の部長又は局長	24 人	0.68 %	459,300 円	528,800 円
8 級	困難な業務を行う本庁の部次長又は局次長	6 人	0.17 %	408,800 円	469,600 円
7 級	本庁の部次長又は局次長 本庁の困難な業務を行う課長	58 人	1.63 %	363,000 円	445,800 円
6 級	本庁の課長又は担当課長	200 人	5.63 %	318,500 円	410,900 円
5 級	課参事、課長補佐 困難な業務を行う主幹	957 人	26.93 %	287,500 円	393,600 円
4 級	主幹、困難な業務を行う専門員又は主査	739 人	20.79 %	261,100 円	381,600 円
3 級	専門員又は主査、主任主事又は主任技師	736 人	20.71 %	227,900 円	350,400 円
2 級	主事・技師	414 人	11.64 %	191,700 円	304,400 円
1 級	主事・技師	420 人	11.82 %	141,600 円	247,300 円

(注) 1 石川県の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。  
2 基準となる職務とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2)昇給への人事評価の活用状況(石川県)

平成29年4月2日から平成30年4月1日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ(一律)	/		/	
ロ 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1)期末手当・勤勉手当

石 川 県			国		
1人当たり平均支給額(平成28年度)			-		
1,639 千円					
(平成28年度支給割合)			(平成28年度支給割合)		
期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当	
2.60 月分	1.70 月分		2.60 月分	1.70 月分	
(1.45) 月分	(0.80) 月分		(1.45) 月分	(0.80) 月分	
(加算措置の状況)			(加算措置の状況)		
職制上の段階、職務の級等による加算措置			職制上の段階、職務の級等による加算措置		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役職加算 5~20%</li> <li>・ 管理職加算 15~25%</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役職加算 5~20%</li> <li>・ 管理職加算 10~25%</li> </ul>		

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

○勤勉手当への人事評価の活用状況(石川県)

平成29年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)	/		/	
ロ 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2)退職手当(平成29年4月1日現在)

石 川 県			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325 月分	49.59 月分	勤続35年	41.325 月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分	最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
1人当たり平均支給額	12,724 千円	23,022 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成28年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		1,088,847 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		131,360 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
東京都特別区	20 %	26 人	20 %
大阪市	16 %	6 人	16 %
名古屋市	15 %	0 人	15 %
金沢市	3 %	7,860 人	3 %
内灘町	3 %	201 人	3 %
医師及び歯科医師	16 %	150 人	16 %
上記以外の市町	0 %	7,487 人	0 %
平均支給率	1.73 %	—	1.73 %
地域手当補正後ラスパイレズ指数 (ラスパイレズ指数)		100.2 (100.2)	

(注)1 「国の制度(支給率)」の欄の平均支給率は、支給対象職員に対し国の率で支給したと仮定した場合の加重平均の支給率です。

- 2 地域手当補正後ラスパイレズ指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレズ指数。  
(補正前のラスパイレズ指数×(1+当該団体の地域手当支給率))÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4) 特殊勤務手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		836,188 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		144,719 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成28年度)		42.6 %		
手当の種類(手当数)		42		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (平成28年度決算)	左記職員に対する 支給単価
県税事務手当	県税の賦課、徴収業務に従事する職員	主として県税の賦課及び徴収等	22,723 千円	給料表の級により 月額 5,000円～20,000円
		その他職員(賦課徴収業務に従事する都度)		月額 750円
消防訓練業務手当	消防学校に勤務する職員	消防訓練業務(実技訓練に限る。)	370 千円	月額 550円
社会福祉業務手当	保健福祉センター、こころの健康センター等の社会福祉主事、身体障害者福祉司等	社会福祉業務の現業	9,041 千円	月額 9,800円 (随時補助する職員 月額 300円)
	児童相談所等に勤務する児童福祉司及び保育士等	児童の一時保護業務		月額 9,800円 (医療職給料表(三)適用者 月額 4,900円) (随時補助する職員 月額 300円)
家畜保健衛生業務手当	家畜保健衛生所に勤務する獣医師	家畜保健衛生業務	4,896 千円	月額 20,000円 (管理職手当受給者 月額 12,000円)
	家畜保健衛生所等に勤務する職員	種雄牛・豚の精液採取等のため、種雄牛・豚を御する作業		月額 230円
感染症防疫等作業手当	保健所、家畜保健衛生所、県営病院等に勤務する職員	感染症予防法に規定する感染症患者等の救護、看護等の作業、付着物の処理作業、家畜伝染病予防法に規定する家畜伝染病患者の病疫作業	76 千円	月額 230円～300円
		狂犬病予防法等に規定する抑留・捕獲等の作業		月額 800円
衛生検査業務等手当	保健所、病院、保健環境センター等に勤務する臨床検査技師又は衛生検査技師	専ら臨床検査業務又は衛生検査業務	1,039 千円	月額 7,000円
	病院に勤務し、臨床検査業務又は衛生検査業務に従事する職員	死体解剖の補助作業		1体 3,500円
	保健所に勤務する保健師	HIV抗体検査の採血業務		月額 230円
老人病棟等看護業務手当	高松病院に勤務する職員	老人病棟又は重症心身障害者病棟において行う看護、生活指導等	—	月額 5,000円
機能訓練業務手当	中央病院又はリハビリテーションセンターに勤務する理学療法士、作業療法士、あん摩マッサージ指圧師等	機能訓練業務	—	月額 7,000円 (あん摩マッサージ指圧師 月額 5,000円)

放射線業務手当	病院、保健所等に勤務する診療放射線技師及び診療エックス線技師等	エックス線その他の放射線を人体に対して照射する作業	197 千円	月額 給料の8/100 (管理職手当受給者 5/100) (保健所等職員 月額 1,400円)
	工業試験場に勤務する職員	エックス線照射による試験研究業務		月額 230円
診療業務手当	本庁健康福祉部、病院、保健所、リハビリテーションセンター等に勤務する医師、歯科医師	診療又は医学的判定事務	11,090 千円	月額 50,000円～70,000円
結核患者等接触業務手当	病院、保健所等に勤務する職員	結核患者の診療、看護、病原菌検査等結核患者又は結核菌に接触する業務	39 千円	看護師 月額 220円 医師等 月額 180円
夜間看護等業務手当	病院に勤務する看護師等	深夜(午後10時後翌日午前5時前)業務	—	深夜の勤務時間により 1回 2,000円～6,800円
分べん業務手当	病院に勤務する医師	分べん業務	—	1回 10,000円
精神保健福祉活動業務手当	保健所等に勤務する職員	精神障害者の鑑定の立会い又は護送の業務	91 千円	月額 300円
	保健所に勤務する保健師等	在宅精神病患者の訪問指導		月額 230円
有毒薬物等取扱作業手当	農林総合研究センター、県営病院等に勤務する職員	毒物及び劇物取締法に規定する毒物又は劇物を使用して行う化学的試験研究、病虫害防除、滅菌又は調剤の作業等	1,347 千円	月額 230円
職業訓練業務手当	産業技術専門学校又は障害者職業能力開発校に勤務する職員	職業訓練業務及び随時補助	10,294 千円	月額 給料の10/100 (管理職手当受給者 4/100) (随時補助する職員 月額 230円)
潜水作業手当	水産総合センター等に勤務する職員又は警察職員	潜水作業	16 千円	潜水深度により 1時間 310円～1,500円
漁労指導等作業手当	漁業調査指導船、漁業取締船又は警察警備艇に乗船する職員	漁労若しくはその指導、漁業取締り又は海上警備等の作業	769 千円	月額 300円
用地取得等交渉業務手当	用地取得の業務に従事する職員	土地の取得等に係る現地における交渉又は事業の施行により生ずる損失の補償に係る現地における交渉(土地の取得等に係る交渉に該当するものを除く。)の業務で知事が定めるもの	7,002 千円	月額 1,000円 (深夜 1,500円)
特殊現場作業手当	土木部、農林水産部、消防保安課等に勤務する職員	地上又は水上5m以上の足場の不安定な箇所、40度以上の急傾斜で高低差10m以上の箇所等の特殊現場における調査、測量等の作業、トンネルの坑内でトンネル掘り作業に関する調査、測量、監督又は検査の作業、工事現場において爆発物を取り扱う作業、土砂の崩落、雪崩若しくは落石の危険が現存する箇所又は防護措置をしてもなおそのおそれのある箇所における測量、調査、監督又は検査の作業、交通を遮断することなく行う道路の測量、調査、監督、検査又は維持補修作業、火薬類や高圧ガスの製造施設又は火薬庫の保安検査、立入検査等の作業、ダム本体内で行う点検作業、ダム湖の水面で行う流木等の除去作業又は堆積土砂等の調査作業等、積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法において行う除雪作業で、除雪車による除雪作業及び午後5時後翌日午前6時前における作業、暴風雪、大雪警報発令下での排雪等の作業、豪雨等異常な自然現象により重大な災害が発生するおそれのある公共土木施設における巡回監視、応急作業等	2,219 千円	月額 200円～1,080円
特殊現場作業手当 (技能労務職員)	水産総合センターに勤務する技能労務職員	内水面増殖作業(水中において行う淡水魚の選別又は取揚げ、採卵等の作業)(10月1日から3月31日までの期間に限る。)	970 千円	月額 300円
港湾管理等業務手当	港湾事務所又は土木総合事務所に勤務する職員	船舶に乗り込み行う、港湾の区域内的管理又は監督の業務	66 千円	月額 230円

航空業務手当	航空機に搭乗する職員	換縦業務、捜索救難、災害発生状況等の調査等	3,615 千円	搭乗1時間 1,900円～5,100円
捜査等作業手当	警察職員	犯罪の予防若しくは捜査又は被疑者の逮捕の作業	39,798 千円	日額 560円
犯罪鑑識業務手当	警察職員	指紋、手口若しくは写真を利用し、又は理化学等の知識を利用する犯罪鑑識作業	1,753 千円	犯罪現場に臨場しての作業 日額 560円 その他 日額 280円
交通捜査取締業務手当	警察職員	道路上における交通事件事故の捜査、交通取締り等の作業	15,924 千円	日額 250円～1,260円
遭難救助等作業手当	警察職員	災害対策本部、石油コンビナート等現地防災本部が設置され、又は災害救助法が適用された災害のうち暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震、津波、火山爆発又は大規模な火事による災害が発生した場合における遭難者等の捜索救助等の作業	60 千円	業務内容により 日額 640円～1,680円
遭難救助等作業手当 (東日本大震災に対処するための特例)	警察職員	東京電力福島第一原子力発電所周辺での作業	2,334 千円	業務内容により 日額 660円～40,000円
		遭難救助等作業手当の一部加算		業務内容により 日額 840円～1,680円
看守業務手当	警察職員	留置施設又は保護室等における収容者の看守業務、被疑者等の護送作業	6,094 千円	日額 270円
死体取扱作業手当	警察職員	人の死体の検視又は見分等の作業	21,317 千円	1体 1,600円又は3,200円
		人の死体の解剖の補助又は立会作業		1体 3,200円
警ら業務手当	警察職員	警ら又は巡回連絡等の作業	48,346 千円	無線警ら車による警ら 日額 420円 その他 日額 340円
夜間特殊業務手当	交替制勤務を行う警察職員	深夜(午後10時後翌日午前5時前)において行う警ら等の業務	74,821 千円	勤務時間により 勤務1回 410円～1,100円
爆発物等処理作業手当	警察職員	爆発物、特殊危険物質等に対して行う識別、認定作業、搬送解体作業等	26 千円	処理1件あたり 5,200円 特殊危険物質による被害の危険区域内作業 日額 250円
核原料物質輸送警備業務手当	警察職員	核原料物質を輸送する車両等に追従し、又は先導して行う輸送警備業務	5 千円	日額 640円
緊急呼出捜査等業務手当	警部以下の警察官又は警察官以外の警察職員	突発的に発生した捜査業務、交通取締業務等に従事するため、正規の勤務時間に引き続かない時間、緊急の呼出しを受けて勤務することを命ぜられた場合で、従事した時間帯の一部又は全部が午後9時後翌日午前5時前の間であるとき	2,246 千円	1回 1,240円
国外犯罪捜査情報収集業務手当	警察職員	犯罪捜査のため、日本国外の著しく危険な地域において行う情報収集業務	—	日額 1,100円
身辺警衛等業務手当	警察職員	天皇若しくは皇族の身辺警衛又は内閣総理大臣、国賓等の身辺警衛の業務	303 千円	日額 640円又は1,150円
銃器犯罪捜査等業務手当	警察職員	防弾装備を着装し、武器を携帯して行われる犯人逮捕等の業務	—	業務内容により 日額 820～1,640円
多学年学級担当手当	教育職員	小学校又は中学校の2以上の学年の児童又は生徒で編成されている学級を担当し、当該学級の授業又は指導に従事	1,859 千円	3以上の学年編成の授業又は指導 日額 350円 2の学年編成の授業又は指導 日額 290円
特殊授業手当	全日制課程若しくは昼間制の定時制課程の勤務を本務とする教育職員が夜間制の定時制課程の勤務を行う場合又は夜間制の定時制課程の勤務を本務とする教育職員が全日制課程若しくは昼間制の定時制課程の勤務を行う場合		348 千円	1時間 1,000円



教員特殊業務手当	教育職給料表(一)又は(二)の適用を受ける教育職員のうち、その属する職務の級が3級、2級又は1級である者	学校の管理下において行う非常災害時における児童又は生徒の保護又は緊急の防災若しくは復旧の業務等	457,702 千円	日額 7,500円又は8,000円
		修学旅行等において児童又は生徒を引率して行う指導業務で泊を伴うもの		日額 4,250円
		対外運動競技等において児童又は生徒を引率して行う指導業務で泊を伴うもの又は週休日、休日等に行うもの		日額 4,250円
		学校の管理下において行う部活動における児童又は生徒に対する指導業務で、週休日、休日等又は正規の勤務時間が4時間以内の日に行うもの		日額 3,000円
教育業務連絡指導手当	教育職員のうち、教務その他の教育に関する業務についての連絡調整及び指導助言に当たる主任等で、その職務が困難であるとして教育委員会が定める業務に従事する職員及びこれらの職員との権衡上必要があると認められるものとして教育委員会が定める職員	87,393 千円	日額 200円	

(5)時間外勤務手当

支給実績(平成28年度決算)	2,172,528 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)	386 千円
支給実績(平成27年度決算)	2,352,660 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)	422 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(平成28年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)です。

## (6) その他の手当(平成29年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制 度と の異同	国の制度と 異なる内容	支給実績 (平成28年度決 算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成28年度決算)
扶養手当	○扶養親族のある職員に対し て下記の区分により支給 ・配偶者 10,000円 ・子 8,000円 ・父母等 6,500円 (配偶者がいない場合の扶養 親族1人に係る手当額につい ては、子10,000円、父母等 9,000円)  ・満16歳の年度始めから満22 歳の年度末までの子 1人 5,000円加算	同じ		1,376,810 千円	238,739 円
住居手当	○借家等居住者 ・家賃が月額22,000円以下 の場合 家賃-10,000円 ・家賃が月額22,000円超の 場合 (家賃-22,000円)×1/2 +12,000円 (最高支給限度額 28,000円)	異なる	○借家等居住者 ・家賃が月額23,000円以下 の場合 家賃-12,000円 ・家賃が月額23,000円超の 場合 (家賃-23,000円)×1/2 +11,000円 (最高支給限度額 27,000円)	782,857 千円	332,423 円
通勤手当	○交通機関を利用し運賃等 を負担している職員 ア 1箇月あたりの支給額 (最高支給限度額 60,000円) ・運賃相当額が 60,000円以内 全額支給 ・運賃相当額が 60,000円超 60,000円 イ 支給方法 支給単位期間に応じ支給 単位期間の最初の月の給料 支給日に一括して支給 (支給単位期間) ・定期券を使用することが最 も経済的かつ合理的な場合 : 定期券の最長通用期間(6箇 月限度)に相当する期間 ・回数乗車券等を使用するこ とが最も経済的かつ合理的な 場合 : 1箇月間 ○交通用具等を使用している 職員 距離に応じて支給 1箇月 2,200円~51,100円	異なる	○交通機関を利用し運賃等 を負担している職員 ア 1箇月あたりの支給額 (最高支給限度額 55,000円) ・運賃相当額が 55,000円以内 全額支給 ・運賃相当額が 55,000円超 55,000円  ○交通用具等を使用している 職員 距離に応じて支給 1箇月 2,000円~31,600円	1,331,538 千円	108,114 円
管理職手当	○管理又は監督の地位にあ る職員について、その特殊性 に基づいて支給 ・支給額 給料表の別に、職務の級 及び区分に応じて、 25,000円~137,700円 再任用職員 16,800円~115,900円	同じ		939,218 千円	669,435 円
初任給調整手当	○専門知識を必要とし、か つ、採用による欠員の補充が 困難な職員に支給 (医師・歯科医師) 採用後35年以内の期間、 採用から1年経過ごとにその 額を減じて支給 ・支給額 勤務する地域、採用からの 年数に応じて 月額 413,600円~17,200円 (獣医師) 採用後15年以内の期間、 採用から1年経過ごとにその 額を減じて支給 ・支給額 採用からの年数に応じて 月額30,300円~5,100円	異なる	獣医師を支給対象としている。	56,701 千円	2,100,037 円

特勤手当	○離島その他の生活の著しく不便な地に所在する公署に勤務する職員に支給 ・支給額 給料及び扶養手当の合計額に勤務する地域の級地に応じた支給割合を乗じて得た額 1級地 4%、2級地 8%、3級地 12%、4級地 16%、5級地 20%、6級地 25%	同じ		6,745 千円	293,261 円
へき地手当	○離島その他の生活の著しく不便な地に所在する学校等に勤務する教員及び職員に支給 ・支給額 給料及び扶養手当の合計額に勤務する地域の級地に応じた支給割合を乗じて得た額 準ずる地域 4%、1級地 8%、2級地 12%、3級地 16%、4級地 20%、5級地 25%			23,829 千円	372,328 円
休日勤務手当	○休日における正規の勤務時間内に勤務を命ぜられた職員の勤務した時間に対して、時間外勤務手当と同様の計算により支給 ・割増率 135/100	同じ		388,453 千円	401,709 円
夜間勤務手当	○深夜(午後10時後翌日午前5時)に正規の勤務時間として勤務をした時間について、時間外勤務手当と同様の計算により支給 ・割増率 25/100	同じ		144,482 千円	197,111 円
宿日直手当	○正規の勤務時間以外の時間、休日及び特別休暇日において、本来の勤務に従事しないで行う庁舎、設備、備品、書類等の保全、外部との連絡、文書の收受及び庁内の監視等を目的とする宿日直勤務を命ぜられた職員に支給 ・勤務施設、用務内容及び勤務時間に応じて 1回2,100円～30,000円	同じ		339,896 千円	292,761 円
寒冷地手当	○毎年11月から翌年3月までの各月の初日において寒冷地域等に在勤する職員に支給 ・職員の世帯等の状況に応じて 月額7,360円～17,800円	同じ		6,991 千円	23,860 円
定時制通信教育手当	○高等学校の定時制・通信制に勤務する教育職員に支給 ・給料月額6～7% (管理職手当受給者は5%)			40,007 千円	320,056 円
産業教育手当	○実習を伴う農業、水産、工業又は商船に係る産業教育に従事する高等学校の教員及び実習助手に支給 ・給料月額6～7% (定時制通信教育手当受給者は4%)			55,497 千円	336,345 円
農林漁業普及指導手当	○農業、林業及び水産業の普及指導事業に従事する職員(普及指導員)に支給 ・行政職給料表の職務の級に応じて 月額16,000円～20,000円 (管理職手当受給者を除く。)			20,591 千円	233,989 円

義務教育等教員 特別手当	○小中学校、高等学校及び 特別支援学校に勤務する教 育職員に支給 ・職務の級及び号給に応じて 月額 2,000円～8,000円			564,129 千円	68,612 円
単身赴任手当	○公署を異にする異動等によ り住居を移転し、やむを得な い事情により配偶者と別居す ることとなった職員で、異動等 の前の住居から通勤すること が困難と認められる者のうち、 単身で生活することを常況と する職員に支給 ・月額 30,000円 (職員の住居と配偶者の住居 との距離(交通距離100～ 2,500km)に応じて月額8,000 円～70,000円加算)	同じ		94,738 千円	419,195 円
管理職員 特別勤務手当	○管理職手当を支給されてい る職員が、(1)臨時又は緊急の 必要その他の公務の運営の 必要により、週休日又は祝日 法による休日若しくは年末年 始の休日に勤務した場合、(2) 災害への対処その他臨時又 は緊急の必要により週休日等 以外の日の午前0時から午前 5時までの間に勤務した場合 に支給 ・管理職手当支給区分及び 勤務時間に応じて 勤務1回当たり 3,000円～18,000円	同じ		17,922 千円	12,774 円
災害派遣手当	○災害応急対策又は災害復 旧又は復興計画の作成等の ため、県内に派遣され、住居 を離れその地に滞在する職員 に支給 ・滞在期間及び滞在施設に 応じて 1日につき 3,970円～6,620円	同じ		—	—
武力攻撃 災害等派遣手当	○武力攻撃事態等における 国民の保護のための措置を 実施するため、県内に派遣さ れ、住居を離れその地に滞在 する職員に支給 ・滞在期間及び滞在施設に 応じて 1日につき 3,970円～6,620円	同じ		—	—
新型インフルエンザ等 緊急事態派遣手当	○新型インフルエンザ等緊急 事態措置を実施するため、県 内に派遣され、住居を離れ、 その地に滞在する職員に支 給 ・滞在期間及び滞在施設に 応じて 1日につき 3,970円～6,620円	同じ		—	—

5 特別職の報酬等の状況(平成29年4月1日現在)

区 分		給 料 月 額 等		
給料	知 事	1,300,000 円		
	副 知 事	1,020,000 円		
報酬	議 長	910,000 円		
	副 議 長	860,000 円		
	議 員	780,000 円		
期末手当	知 事	(平成28年度支給割合)		3.25月分
	副 知 事	(平成28年度支給割合)		3.25月分
退職手当	知 事	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 知 事	130万円×在職月数×50/100	31,200,000 円	任期毎
		102万円×在職月数×36/100	17,625,600 円	任期毎

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

## 6 職員数の状況

### (1)部門別職員数の状況と主な増減理由

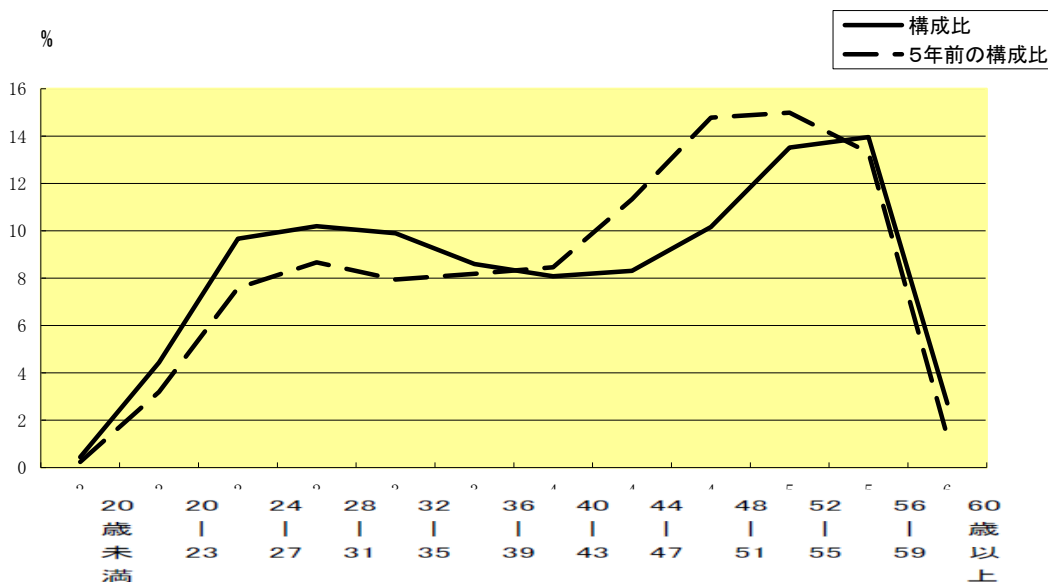
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由	
		平成29年	平成28年			
普 通 会 計	一 般 行 政 部 門	総務・企画等	793	782	11	スポーツ行政移管等
		保健・福祉	696	677	19	国民健康保険改革への対応等
		商工・労働	314	304	10	金沢港活用推進業務等
		農水・土木	1,451	1,420	31	のと里山海道4車線化業務等
	計	3,254	3,183	71	(参考:人口10万人当たり職員数 285.10人)	
部 門	教育部門	8,973	9,061	▲ 88	学級数の減、スポーツ行政移管等	
	警察部門	2,336	2,316	20	警察官の増員等	
	小 計	14,563	14,560	3	(参考:人口10万人当たり職員数 1275.95人)	
公 営 会 社 等 部 門	病院	1,148	1,124	24	新病院開設準備等	
	その他	71	68	3	欠員補充等	
	小 計	1,219	1,192	27		
合 計		15,782 [ 16,881]	15,752 [ 16,920]	30 [▲39]	(参考:人口10万人当たり職員数 1382.75人)	

(注)1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 [ ]内は、条例定数の合計です。

### (2)年齢別職員構成の状況(平成29年4月1日現在)



区 分	20歳 未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	70人	701人	1,526人	1,609人	1,562人	1,357人	1,276人	1,312人	1,603人	2,134人	2,203人	429人	15,782人

### (3)職員数の推移

(単位:人、%)

部門別	年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	過去5年間の 増減数(率)
一般行政		3,277	3,209	3,195	3,170	3,183	3,254	▲ 23 (▲ 0.7%)
教育		9,277	9,198	9,180	9,114	9,061	8,973	▲ 304 (▲ 3.3%)
警察		2,289	2,285	2,287	2,304	2,316	2,336	47 (2.1%)
普通会計		14,843	14,692	14,662	14,588	14,560	14,563	▲ 280 (▲ 1.9%)
公営企業等会計		1,094	1,116	1,134	1,183	1,192	1,219	125 (11.4%)
総合計		15,937	15,808	15,796	15,771	15,752	15,782	▲ 155 (▲ 1.0%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数

## 7 公営企業職員の状況

### 水道用水供給事業

#### (1) 職員給与費の状況

##### ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成27年度の総費用に 占める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
平成28年度	5,644,853	386,141	469,725	8.3	8.8

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり給与費 B/A	(参考) 都道府県平均 一人当たり給与費 千円
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	
平成 28年度	57	219,257	50,523	80,733	350,513	6,149	6,929

(注)1 職員手当には退職給与金を含んでいません。  
2 職員数は、平成29年3月31日現在の人数です。

#### (2) 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(平成29年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
石 川 県	47.6 歳	340,000 円	522,915 円
団 体 平 均	44.1 歳	367,407 円	576,692 円

(注)平均月収額には、期末・勤勉手当等を含みます。

#### (3) 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

石 川 県	一 般 行 政 職	団 体 平 均
1人当たり平均支給額(平成28年度) 1,416 千円	1人当たり平均支給額(平成28年度) 1,545 千円	1人当たり平均支給額(平成28年度) 1,624 千円
(平成28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.70 月分 (0.80) 月分	(平成28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.70 月分 (0.80) 月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~20% ・ 管理職加算 15~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5~20% ・ 管理職加算 15~25%	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

##### イ 退職手当(平成29年4月1日現在)

石 川 県	一 般 行 政 職	団 体 平 均
(支給率) 自己都合 勤続20年 20.445 月分 勤続25年 29.145 月分 勤続35年 41.325 月分 最高限度額 49.59 月分 1人当たり平均支給額 22,411 千円	(支給率) 自己都合 勤続20年 20.445 月分 勤続25年 29.145 月分 勤続35年 41.325 月分 最高限度額 49.59 月分 1人当たり平均支給額 8,944 千円	25.55625 月分 34.5825 月分 49.59 月分 49.59 月分 22,882 千円
		1人当たり平均支給額 (平成28年度) 18,453 千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、退職者が少ないため過去5年間の平均支給額です。  
なお、一般行政職については、平成28年度に退職した職員に支給された平均額です。

##### ウ 地域手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		2,719 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		100,695 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
金沢市	3 %	17 人	3 %
内灘町	3 %	— 人	3 %
上記以外の市町	0 %	35 人	0 %

エ 特殊勤務手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		1,375 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		40,454 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成28年度)		59.6 %		
手当の種類(手当数)		3		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (平成28年度決算)	左記職員に対する支給単価
特殊現場作業手当	水道用水供給事業の業務に従事する企業職員	地上又は水面上5m以上の足場の不安定な箇所におけるダム、橋梁、水門等の作業、ダム又は洪水時の取水ダムにおける除じん作業、高圧活線作業等の特殊な現場における作業	1,063 千円	日額 200円～1,080円
用地取得交渉業務手当	水道用水供給事業の業務に従事する企業職員	現地において行う用地取得の交渉業務	20 千円	日額 1,000円
夜間水道業務手当	水道事務所に勤務する職員	正規の勤務時間による勤務が深夜(午後10時後翌日午前5時前)において行われる水道機器の運転、保守、監視等の業務	292 千円	1回 1,000円

オ 時間外勤務手当

支給実績(平成28年度決算)	18,162 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)	363 千円
支給実績(平成27年度決算)	18,671 千円
支給職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算)	352 千円

(注)1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みません。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(平成28年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)です。

カ その他の手当(平成29年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (平成28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成28年度決算)
扶養手当	○扶養親族のある職員に対して下記の区分により支給 ・配偶者 10,000円 ・子 8,000円 ・父母等 6,500円 (配偶者がいない場合の扶養親族1人に係る手当額については、子10,000円、父母等9,000円)  ・満16歳の年度始めから満22歳の年度末までの子 1人 5,000円加算	同じ		6,054 千円	224,237 円
住居手当	○借家等居住者 ・家賃が月額22,000円以下の場合 家賃-10,000円 ・家賃が月額22,000円超の場合 (家賃-22,000円)×1/2 +12,000 円 (最高支給限度額 28,000円)	同じ		3,812 千円	317,667 円



通勤手当	<p>○交通機関を利用し運賃等を負担している職員 ア 1箇月当たりの支給額 (最高支給限度額 60,000円) ・運賃相当額が 60,000円以 内 全額支給 ・運賃相当額が 60,000円超 イ 支給方法 支給単位期間に応じ支給 単位期間の最初の月の給料 支給日に一括して支給 (支給単位期間) ・定期券を使用することが最 も経済的かつ合理的な場合 : 定期券の最長通用期間(6箇 月限度)に相当する期間 ・回数乗車券等を使用する ことが最も経済的かつ合理的な 場合 : 1箇月間</p> <p>○交通用具等を使用している 職員 距離に応じて支給 1箇月 2,200円~51,100円</p>	同じ		7,265 千円	137,082 円
管理職手当	<p>○管理又は監督の地位にあ る職員について、その特殊性 に基づいて支給 ・支給額 給料表の別に、職務の級 及び区分に応じて、 25,000円~137,700円 再任用職員 16,800円~115,900円</p>	同じ		4,989 千円	712,737 円
初任給調整手当	<p>○特殊な専門知識を必要と し、かつ、採用による欠員の 補充について特別な事情が あると認められる職に新たに 採用される職員に対して支給</p>	同じ		—	—
特地勤務手当	<p>○生活の著しく不便な地に所 在する事業所に勤務する職 員に支給 ・支給額 給料及び扶養手当の合計 額に勤務する地域の級地に 応じた支給割合を乗じて得た 額 1級地 4%、2級地 8%、 3級地 12%、4級地 16%、 5級地 20%、6級地 25%</p>	同じ		—	—
夜間勤務手当	<p>○深夜(午後10時後翌日午 前5時前)に正規の勤務時間 として勤務をした時間につい て、時間外勤務手当と同様の 計算により支給 ・割増率 25/100</p>	同じ		1,050 千円	95,420 円
宿日直手当	<p>○正規の勤務時間以外の時 間、休日及び特別休日に おいて、本来の勤務に従事し ないで行う庁舎、設備、備品、 書類等の保全、外部との連 絡、文書の收受及び庁内の 監視等を目的とする宿日直勤 務を命ぜられた職員に支給 ・勤務時間に応じて 1回2,425円~4,850円</p>	異なる	<p>○正規の勤務時間以外の時 間、休日及び特別休日に おいて、本来の勤務に従事し ないで行う庁舎、設備、備品、 書類等の保全、外部との連 絡、文書の收受及び庁内の 監視等を目的とする宿日直勤 務を命ぜられた職員に支給 ・勤務施設、用務内容 及び勤務時間に応じて 1回2,100円~30,000円</p>	1,791 千円	111,909 円
寒冷地手当	<p>○毎年11月から翌年3月ま での各月の初日において寒冷 地域等に在勤する職員に支 給 ・職員の世帯等の状況に応じ て 月額7,360円~17,800円</p>	同じ		792 千円	56,856 円

<p>単身赴任手当</p>	<p>○公署を異にする異動等により住居を移転し、やむを得ない事情により配偶者と別居することとなった職員で、異動等の前の住居から通勤することが困難と認められる者のうち、単身で生活することを常況とする職員に支給  ・月額 30,000円  (職員の住居と配偶者の住居との距離(交通距離100～2,500km)に応じて月額8,000円～70,000円加算)</p>	<p>同じ</p>		<p>372 千円</p>	<p>372,000 円</p>
<p>管理職員特別勤務手当</p>	<p>○管理職手当を支給されている職員が、(1)臨時又は緊急の必要その他の公務の運営の必要により、週休日又は祝日法による休日若しくは年末年始の休日に勤務した場合、(2)災害への対処その他臨時又は緊急の必要により週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間に勤務した場合に支給  ・管理職手当支給区分及び勤務時間に応じて勤務1回当たり3,000円～18,000円</p>	<p>同じ</p>		<p>6 千円</p>	<p>6,000 円</p>